



## 下水道展 '25大阪に出展

(併催行事：  
セミナー、出展者プレゼンテーション、下水道研究発表会)

### ○下水道展への出展

本機構は、令和7年7月29日（火）～8月1日（金）までの4日間、インテックス大阪（小間番号2-319）で出展いたします。このブースでは、「下水道機能の持続性確保」、「災害リスクへの対応力の向上」、「新たな価値の創造」の3つを柱とした展示コーナー設置し、下水道事業の課題解決に資する様々な調査研究等を分かりやすくパネルにして展示します。具体的には、「共同研究による下水道BCP策定支援・訓練支援」、「アセットマネジメントの実践に向けた次世代マンホール蓋技術に関する共同研究」、「プラチナシステムを用いた脱炭素化技術の開発に関する共同研究」、「下水処理場における省エネ型送風機の導入促進に関する共同研究」の成果など、課題解決や業務の推進に役立つ研究成果や好事例などの情報を提供します。



下水道機構出展ブースイメージ

### ○第83回 下水道新技術セミナー

7月31日（木）の10：00から、インテックス大阪6号館 ホールGにおいて、「第83回下水道新技術セミナー」をZoomウェビナー併用で主催します。名古屋大学准教授の平山修久氏に基調講演をいただくとともに、国土交通省上下水道審議官グループで施策立案に携わっている方も講師としてお招きし、令和6年能登半島地震被災自治体の復旧復興への取り組みと技術的課題についてご講演いただく予定です。また、実際に被災された石川県からは、復旧復興への取り組みと課題について報告していただきます。

## ○下水道研究発表会での成果発表

今年も下水道研究発表会に参加し、口頭発表部門20件、ポスター部門2件の合計22件について、最新の研究成果等を発表します。多くのデータに基づく研究成果の発表を行いますので、公共団体や民間企業の方々の今後の業務展開に参考になるのではないかと思います。

### 第62回下水道研究発表会 発表者一覧

口頭発表部門

発表方法：10分間の口頭発表と5分間の質疑応答

| No.        | 時間          | 場所   | 所属      | 発表者               | 発表題目                                   |
|------------|-------------|------|---------|-------------------|----------------------------------------|
| 7月29日（火）PM |             |      |         |                   |                                        |
| 1          | 13:00～15:10 | 第5会場 | 研究第一部   | 横森 慶              | 下水再生水利用拡大に向けた一考察                       |
| 2          | 15:20～17:15 | 第3会場 | 研究第一部   | 幸田 直也             | 水処理工程におけるDO制御がN2O発生に及ぼす影響              |
| 3          | 13:00～14:55 | 第7会場 | 研究第二部   | 山下 和也             | 長大伏せ越し構造における水理現象に関する調査研究               |
| 4          | 13:00～15:10 | 第1会場 | 資源循環研究部 | 熊野 晋              | 下水道資源の肥料利用拡大に向けた成分分析調査の結果について          |
| 5          | 13:00～15:10 | 第1会場 | 資源循環研究部 | 飯田 裕樹             | 下水道資源の菌体りん酸肥料登録に向けた検討事例                |
| 6          | 13:00～15:10 | 第1会場 | 資源循環研究部 | 宮崎 陸              | 造粒乾燥汚泥の肥料利用について                        |
| 7          | 13:00～15:10 | 第1会場 | 資源循環研究部 | 郷野 梨夏             | 下水道の脱炭素化に向けた消化ガス発電の導入検討事例              |
| 7月30日（水）AM |             |      |         |                   |                                        |
| 8          | 10:00～12:10 | 第4会場 | 研究第二部   | 中原 伸広             | 蓄電池等を用いた樋門の電動化・遠隔化技術に関する研究             |
| 7月30日（水）PM |             |      |         |                   |                                        |
| 9          | 13:00～14:40 | 第7会場 | 研究第一部   | 吉田 聡              | 調査困難箇所の調査手法に関する研究（主に処理場・ポンプ場での水中調査技術）  |
| 10         | 13:00～14:40 | 第6会場 | 資源循環研究部 | 山本 真幸             | 下水処理場における省エネルギー型送風機および高効率散気装置導入検討事例    |
| 7月31日（木）AM |             |      |         |                   |                                        |
| 11         | 10:00～11:25 | 第3会場 | 研究第一部   | 古屋 勇治             | ロールプレイング方式図上訓練による下水道BCP向上効果に関する研究      |
| 12         | 10:00～12:10 | 第4会場 | 研究第二部   | 本多 晃一<br>(関谷 大河)  | 再度災害防止のための効率的な雨水対策施設に関する調査研究           |
| 13         | 10:00～11:55 | 第5会場 | 研究第二部   | 愛甲 秀行             | 管路管理の包括的委託の導入事例を踏まえた多様な官民連携方式の推進に関する研究 |
| 14         | 10:00～11:40 | 第7会場 | 資源循環研究部 | 富田 麻未             | 中・小規模処理場の太陽光発電設備の温室効果ガス削減ポテンシャルの検討     |
| 7月31日（木）PM |             |      |         |                   |                                        |
| 15         | 13:00～14:55 | 第4会場 | 研究第一部   | 寺地 裕康             | 関連市町と連携したA流域下水道における雨天時浸入水対策計画の策定事例     |
| 16         | 13:00～14:40 | 第7会場 | 研究第一部   | 木下 将太郎<br>(小和田裕一) | 大口径管等の調査困難箇所（気相部）における劣化調査及び調査技術の適用性検証  |
| 17         | 15:20～17:30 | 第4会場 | 研究第一部   | 荒生 靖大             | 低コスト水位計を用いた雨天時浸入水調査に関する研究              |
| 18         | 13:00～14:55 | 第4会場 | 研究第二部   | 佐藤 弘輔             | 雨天時浸入水に関する調査研究                         |
| 19         | 13:00～14:55 | 第3会場 | 資源循環研究部 | 沖口 裕真             | プラチナシステムを導入した処理場における運転実績調査報告           |
| 20         | 15:20～17:15 | 第7会場 | 技術評価部   | 河岸 岳人             | マンホール更生工法の課題と表面部材の要求性能の考察              |

ポスター発表部門

| No.                  | 場所     | 所属    | 発表者             | 発表題目                               |
|----------------------|--------|-------|-----------------|------------------------------------|
| 7月30日(水) 12:00～14:00 |        |       |                 |                                    |
| 1                    | B 5会議室 | 研究第一部 | 鈴木 杏梨<br>(山本晃裕) | A処理区におけるAI(機械学習モデル)を用いた不明水予測に関する研究 |
| 2                    | B 5会議室 | 技術評価部 | 渡辺 太郎           | 管きょ更生工法（複合管）の施工時における課題             |

※（ ）内はプログラムに記載の発表者名

○出展者プレゼンテーション ～最新技術の紹介～

下水道機構では、審査証明技術の普及促進を目的として、審査証明事業の概要説明と令和6年度に審査証明を取得した技術（下表）を中心にプレゼンテーションを行います。各技術の紹介は、審査証明を取得した企業の方が直接分かりやすく解説いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時：令和7年7月29日（火）14：10～16：30

会 場：インテックス大阪2号館プレゼンテーションセミナー会場

【プレゼンテーション技術】

**STUNP工法**

マンホールと大口径管きょ接続部の耐震改良工法

**BSACセグメント**

耐硫酸性下水道ミニシールド工法用鉄筋コンクリートセグメント

BSACセグメント製品

普通コンクリート

BSAC

5%硫酸水溶液に112日間浸漬したときの試験体

**次世代型高品位グラウンドマンホールSV**

下水道用鑄鉄製マンホール蓋

防食表面処理は蓋枠および機能部品の全面に採用

**ハイレイズ工法**

下水道管きょの光硬化（UV）による更生工法（自立管）－形成工法－

**フラッシュライニング-S1工法**

下水道管きょの光硬化（LED）による更生工法（自立管）－形成工法－

**ジックボードVG工法**

防食性能付き下水道自立マンホール更生工法

表 プレゼンテーション技術 タイムテーブル（予定）

| 開始時間   | No. | 技 術 名 称（副 題）                                      | 審査証明取得者                                                                                              |
|--------|-----|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14:10～ | —   | 建設技術審査証明事業の紹介<br>（審査証明事業の目的、これまでの実績、新たな取り組み等）     | （公財）日本下水道新技術機構                                                                                       |
| 14:20～ | 1   | STUNP工法<br>（非開削によるマンホールと大口径管きょ接続部の耐震改良工法）         | 帝国ヒューム管東日本（株）<br>（株）ロンビックジャパン、（株）伊勢工業                                                                |
| 14:40～ | 2   | BSACセグメント<br>（耐硫酸性下水道ミニシールド工法用鉄筋コンクリートセグメント）      | （株）クボタ建設<br>大和クレス（株）                                                                                 |
| 15:00～ | 3   | 次世代型高品位グラウンドマンホールSV<br>（下水道用鑄鉄製マンホール蓋）            | アクアインテック（株）、虹技（株）<br>日本鑄鉄管（株）、日之出水道機器（株）                                                             |
| 15:20～ | 4   | ハイレイズ工法（下水道管きょの更生工法（自立管）－形成工法－）                   | タキロンシーアイシビル（株）                                                                                       |
| 15:40～ | 5   | フラッシュライニング-S1工法<br>（下水道管きょの更生工法（自立管）－形成工法－）       | （株）トラストテクノ、因幡環境整備（株）、<br>エスジーシー下水道センター（株）、NC建材（株）、<br>（株）オール、京阪神道路サービス（株）、<br>（株）ナカバヤシ、吉佳エンジニアリング（株） |
| 16:00～ | 6   | ジックボードVG工法（下水道自立マンホール更生工法<br>（防食性能付きシートライニング工法-）） | 日本ジッコウ（株）                                                                                            |